

令和6年度の学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>(1) スクールミッション及びスクール・ポリシーを基軸にすべての教育活動への反映                  (2) ビジネス社会を意識した規範意識の醸成と基本的生活習慣の確立                  (3) 「主体的・対話的で深い学び」の安定した実現に向けて飽くなき授業改善と評価の確立                  (4) 一人一台タブレットを中心としたICT教育の持続的な推進                  (5) 全日制単位制キャリアビジネス科2年目における礎づくりと継続的な検討                  (6) 旧中川商業生徒と単位制以降入学生との共存と融合                  (7) 定時退校日の有効活用と平素業務の効率化に向けた業務改善</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>式典や管轄業務について計画的に企画・立案した上で、安全かつ円滑に遂行できるようにする。</li> <li>PTA役員、委員との連携を図りながら、主体的な特色あるPTA活動になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織と連絡・調整を図り、共通認識のもとで、式典や管轄業務の遂行が円滑に運営できるようにする。</li> <li>PTA役員、委員との連携を進め、PTA役員・委員がPTA活動をしやすいようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携を密にしながらかつ活動を進める。</li> <li>PTA役員、委員との連携をし、コミュニケーションを取りながら活動を進める。本校こあつた特色のあるPTA活動を目指す。</li> </ul>
<p>教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中川青和高校での円滑なカリキュラムの運用と課題改善</li> <li>スクールエンジンの運用方法の確立</li> <li>観点別評価の定着と評価方法の課題改善</li> <li>生徒の読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年次以降の教育課程に関する事項を準備する。</li> <li>スクールエンジンによる成績処理、指導要録の作成、調査書の作成方法を確立させながら改善を図る。</li> <li>観点別評価用の成績処理関係の書式の作成と改善。</li> <li>図書委員会(生徒)による図書館だよりの定期的発行と生徒の主体的な活動から内容の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程委員会を開催し、計画的に進めながら改善を図る。</li> <li>書類の作成方法を確立し、マニュアルの作成に着手する。現在使用しているマニュアルに関しては改善を図る。</li> <li>単位認定委員会や教科主任会を通じて、周知、改善をはかる。</li> <li>生徒が委員会活動の一環として図書館だよりを主体的に作成できるように働きかける。</li> </ul>
<p>生徒指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣の確立</li> <li>令和5年度以降の入学生における生徒指導規定全般の確認</li> <li>委員会活動の活性化</li> <li>支援が必要と思われる生徒への他分掌と協力した援助・指導</li> <li>外国ルーツを持つ生徒に対する異文化理解も含めた指導体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より効果的・効率的な屋敷に対する指導の実施と常習的・屋敷者に対するの個別対応した効果的・指導法の検討</li> <li>ドレスコードの目的の周知と学校安全面からのネックストラップ着用の定着化</li> <li>「生活委員会」の活動の活性化を図る。</li> <li>学年、相談部、保健部と情報を共有し、連携した指導の実施。</li> <li>関係部署と情報を共有するとともに、個別のヒアリング等を実施し、相互理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導内容等について、校内外とも周知徹底を図り、各学年、各分掌、保護者との連携を密にする。</li> </ul>
<p>進路指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の進路実現に向けた進路指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路選択の充実</li> <li>基礎学力の向上</li> <li>インターンシップの活用</li> <li>コミュニケーション能力・身だしなみを含むマナーの向上</li> <li>他分掌との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導の各担当者、担任との相談を密にし、各自の望む進路実現となるようにする。</li> <li>ハローワークと連携、職業意識の向上。</li> <li>関係分掌と連携し、適切な指導・助言。</li> <li>朝学習・ガイダンスの積極的活用</li> <li>タブレットの効果的・活用</li> <li>社会人講師・インターンシップ等活用</li> </ul>
<p>保健美化部</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身ともに健康な生徒の育成</li> <li>緊急時に備える体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員会を随時開催し、各クラスでの問題点や改善点などの情報交換を充実させる。</li> <li>救急法講習会を充実させ、緊急時に備える。(エピペンの使い方を含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健委員、美化委員による自発的な活動を促す。</li> <li>必要に応じて、相談部など他分掌及び学年との連携を図りながら進めていく。</li> <li>教職員への情報提供を随時行う。</li> <li>教員向け救急法講習会を早い時期に計画する。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
保健美化部	・美化意識の向上及び清掃活動の充実とゴミの減量化	・環境美化意識が高まるような方策を検討する。特に衛生設備を重点に環境整備や美化に努める。	・トイレの正しい利用方法の普及・徹底と清掃活動の充実に努める。 ・校外から持ち込んだゴミやプリント類は持ち帰るように働きかける。
生徒会	・生徒が充実感や達成感を得るような生徒会行事の実施 ・部活動の活性化	・学校行事において生徒会執行部が中心となり、生徒自身が学校行事の運営にあたるよう、各種委員会を中心に組織を構成する。 ・部活動を改編し、より生徒の積極的参加を促し活性化を図る。	・各行事において、多くの生徒で役割を分担し、確実に遂行できるようサポートすることにより、生徒自身が自主性をもてるようにする。 ・各部活動の活動体制の見直しなどを行う。
相談部	・落ち着いた学校生活を送れるように、必要な支援や精神的サポートを行う。	・迅速で丁寧な対応を目指す。 ・心理検査を実施し、思考特性や集団特性の把握をする。 ・年2回程度精神健康調査を行うことで、各クラスの状況を把握とイジメ等の早期発見をする。 ・学校内外の連携をスムーズに行う。	・人権に留意する。 ・個人情報保護に留意する。 ・本人、保護者が要望していることを適切に把握し、必要な支援策を講ずる。 ・個人の状況とクラスや周囲の状況を確認し、必要なタイミングで必要な指導、支援ができるようにする。 ・フットワークとチームワークを大切にする。
教育情報部	・生徒用タブレット適切な利用促進 ・ICT活用時の安全意識の向上	・ルールブックを定着させ、積極的なタブレットの利用を行う。 ・研修研修を実施する。	・生徒自身に適切な利用方法を考えさせることに留意する。 ・個人情報の取り扱いに留意する。 ・各教員がICTを活用した教育活動を実施するために、利用促進に努める。
1年生	・豊かな人間性の育成 ・基本的な生活習慣の確立 ・基礎学力の定着	・学校生活をとおして、自立した大人として必要な人間性を高める。 ・衣食住の生活リズムを整え、時間や約束を守らせる。 ・朝学習や授業をとおして高校生として必要な基礎学力の定着をさせる。	・保護者との連携を密にし、協力体制を築く。 ・生徒理解と状況把握に努める。 ・各分掌、教科と連携して生徒に必要な支援を把握する。保護者の理解を得よう連携を保つ。 ・生徒理解と状況把握に努める。 ・各分掌、教科と連携する。
2年生	・人間力を高める(社会人として求められる素質の育成) ・基礎学力の定着・向上	・学校生活を通して社会人として必要な人間性を高める。 ・時間(遅刻、欠席、提出物)を意識させる。 ・検定などに挑戦し、資格を取る意識をさせる。 ・朝学習、授業を通じて、基礎学力の定着。 ・長期休業を利用して、オープンキャンパスに参加させる。 ・職業理解	・保護者の理解との連携(こまめな連絡)。 ・各分掌、教科と連携して生徒に必要な支援を把握する。保護者の理解を得よう連携を保つ。 ・生徒理解と状況把握に努める。 ・各分掌、教科と連携する。
3年生	・進路目標の実現 ・社会に通じる人間力の育成 ・基礎学力の向上	・進路指導をとおして自己理解を深め、進路目標の実現に向けて粘り強く最後まで努力させる。 ・学校内外の授業や活動をとおして社会に求められる人間力を育成する。 ・朝学習や授業をとおして社会人として必要な基礎学力を身に付けさせる。	・保護者の理解を得よう連携を保つ。 ・各分掌、教科との連携を強化する。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		(1)教育活動全体をとおして、基本的な生活習慣の確立・基礎学力向上に向けた取組を実施することができたか。 (2)外部との連携や地域活動をとおして、地域に信頼され必要とされる学校づくりを進めることができたか。 (3)本校スクールポリシーを基に、教科・科目の視点から魅力ある商業教育が実践できるよう取り組めたか。 (4)人権教育並びに情報モラル・いじめ防止等に関する具体的な取組について、確実に進めることができたか。 (5)定時制校日の有効活用を含め、時間を意識して業務を進める意識改革を推進できたか。	